

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり22.2人と、流行が本格化しています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は28件報告されています。今後、さらに流行が拡大する可能性があるため、注意が必要です。

流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持などインフルエンザ対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

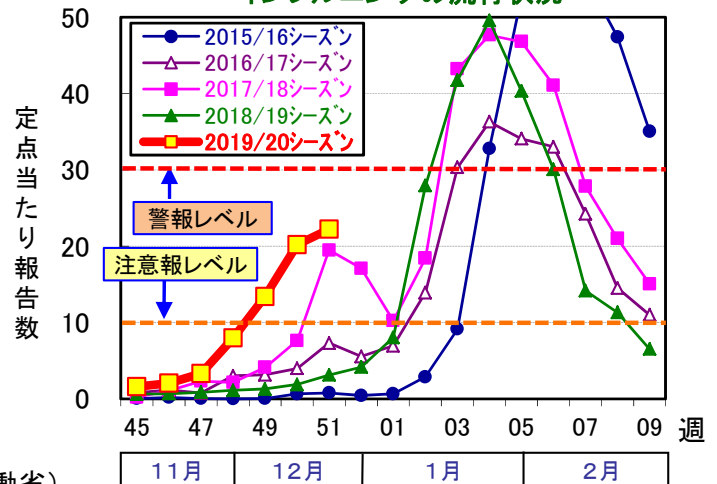
2. 感染性胃腸炎

定点当たり8.25人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

【参考】今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	822	22.22	8.54	→	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.61	→
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.31	→	小児科	RSウイルス感染症	10	0.42	0.77	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	3.48	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	→
	感染性胃腸炎	198	8.25	11.16	→	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.90	→
	水痘	10	0.42	0.67	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	→
	手足口病	8	0.33	0.68	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	→
	伝染性紅斑	20	0.83	0.32	→		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17	→
	突発性発しん	6	0.25	0.38	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	→
	ヘルパンギーナ	-	-	0.09	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	→

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	146	女性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	10	男性(40歳代)
5	急性脳炎	1	18	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	73	男性(20歳代)、女性(40歳代)
5	百日咳	1	92	男性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第47週	123	13	40	99	3	6	8	7	2	-	15	-	1	-	-	1	-	-
		第48週	295	11	42	134	11	7	21	8	3	-	18	-	3	-	-	-	-	-
		第49週	496	8	45	134	7	4	15	5	3	-	7	-	4	-	-	1	-	-
		第50週	748	17	42	153	9	11	13	8	1	2	7	-	5	-	-	-	-	-
		第51週	822	12	51	198	10	8	20	6	-	1	10	-	7	-	-	2	-	-
定点 当たり	広島市	第47週	3.32	0.54	1.67	4.13	0.13	0.25	0.33	0.29	0.08	-	0.63	-	0.13	-	-	0.14	-	-
		第48週	7.97	0.46	1.75	5.58	0.46	0.29	0.88	0.33	0.13	-	0.75	-	0.38	-	-	-	-	-
		第49週	13.41	0.33	1.88	5.58	0.29	0.17	0.63	0.21	0.13	-	0.29	-	0.50	-	-	0.14	-	-
		第50週	20.22	0.71	1.75	6.38	0.38	0.46	0.54	0.33	0.04	0.08	0.29	-	0.63	-	-	-	-	-
		第51週	22.22	0.50	2.13	8.25	0.42	0.33	0.83	0.25	-	0.04	0.42	-	0.88	-	-	0.29	-	-
	全国	第49週	9.52	0.73	3.27	5.92	0.56	0.97	0.61	0.35	0.11	0.06	0.50	0.01	0.60	0.02	0.04	0.47	0.01	0.02
		第50週	15.62	0.80	3.55	6.60	0.68	0.83	0.61	0.36	0.08	0.07	0.51	0.01	0.59	0.03	0.04	0.44	-	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

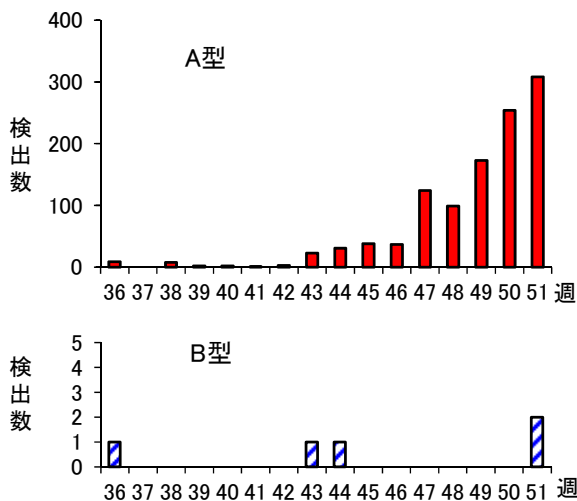
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6) 気管支炎	8	男	2019/11/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
無菌性髄膜炎	発熱(38.9) 髄膜炎	7	男	2019/11/08	咽頭拭い液 髄液 糞便	エコーウイルス30型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 肺炎	8	女	2019/11/09	喀痰・気管吸引物	パラインフルエンザウイルス2型
その他の疾患	発熱	0	女	2019/11/12	髄液	エコーウイルス30型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザ迅速診断キット検査結果
(2019年第51週現在)



基幹病院2か所における迅速診断キットによるインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計は、A型陽性1,112人、B型陽性が5人と、A型が多くなっています。

また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注)では、今シーズンは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型が25件、インフルエンザウイルスA(H3)型が1件、B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)が1件検出されています(12月22日現在速報値)。

(注)感染症発生動向調査における病原体定点等において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況については、国立感染症研究所HP「インフルエンザウイルス分離・検出速報」にてご確認ください。
(URL: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第51週(12月16日～12月22日)